

各位

会社名 FDK株式会社
 代表者名 代表取締役社長 大橋 洋一
 (コード番号 6955 東証第二部)
 問合せ先 CSR・コンプライアンス統括部長 平野 芳晴
 (TEL. 03-5715-7400)

通期業績予想の修正、営業外費用および特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2018年1月30日に開示した2018年3月期（2017年4月1日～2018年3月31日）の通期業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

また、2018年3月期において、下記のとおり特別損失を計上する見通しとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 2018年3月期通期連結業績予想数値の修正（2017年4月1日～2018年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	72,000	600	250	10	0.04
今回修正予想 (B)	73,000	650	70	△650	△2.32
増減額 (B-A)	1,000	50	△180	△660	
増減率 (%)	1.4	8.3	△72.0	—	
(ご参考) 前期実績 (2017年3月期)	73,682	△330	△697	△3,166	△11.30

2. 修正の理由

2018年1月30日に公表しました業績見直しにおける想定に対し、電池事業でインターネット販売用途向けアルカリ乾電池、OEM販売用途向けニッケル水素電池、住警器用途向けリチウム電池などの販売が増加し、売上高および営業利益は増加する見込みです。一方で、想定した当第4四半期における為替レートに対し円高に推移したことから、為替差損が生じる見込みになったことに加え、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、電池事業のアルカリ乾電池にかかわる固定資産と電子事業にかかわる固定資産の減損損失として特別損失を計上する見込みです。

つきましては、2018年1月30日に公表しました2018年3月期連結業績予想数値を上記のとおり修正いたします。

3. 営業外費用（為替差損）の計上

当第4四半期連結会計期間において、円高による為替差損350百万円を営業外費用として計上する見込みです。

4. 特別損失の計上

・減損損失

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社の電池事業のアルカリ乾電池にかかわる固定資産と電子事業にかかわる固定資産について、それぞれ当第4四半期連結会計期間において帳簿価額を回収可能額まで減額し、減損損失として527百万円を特別損失に計上する見込みです。

(注意事項)

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因により、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

以上